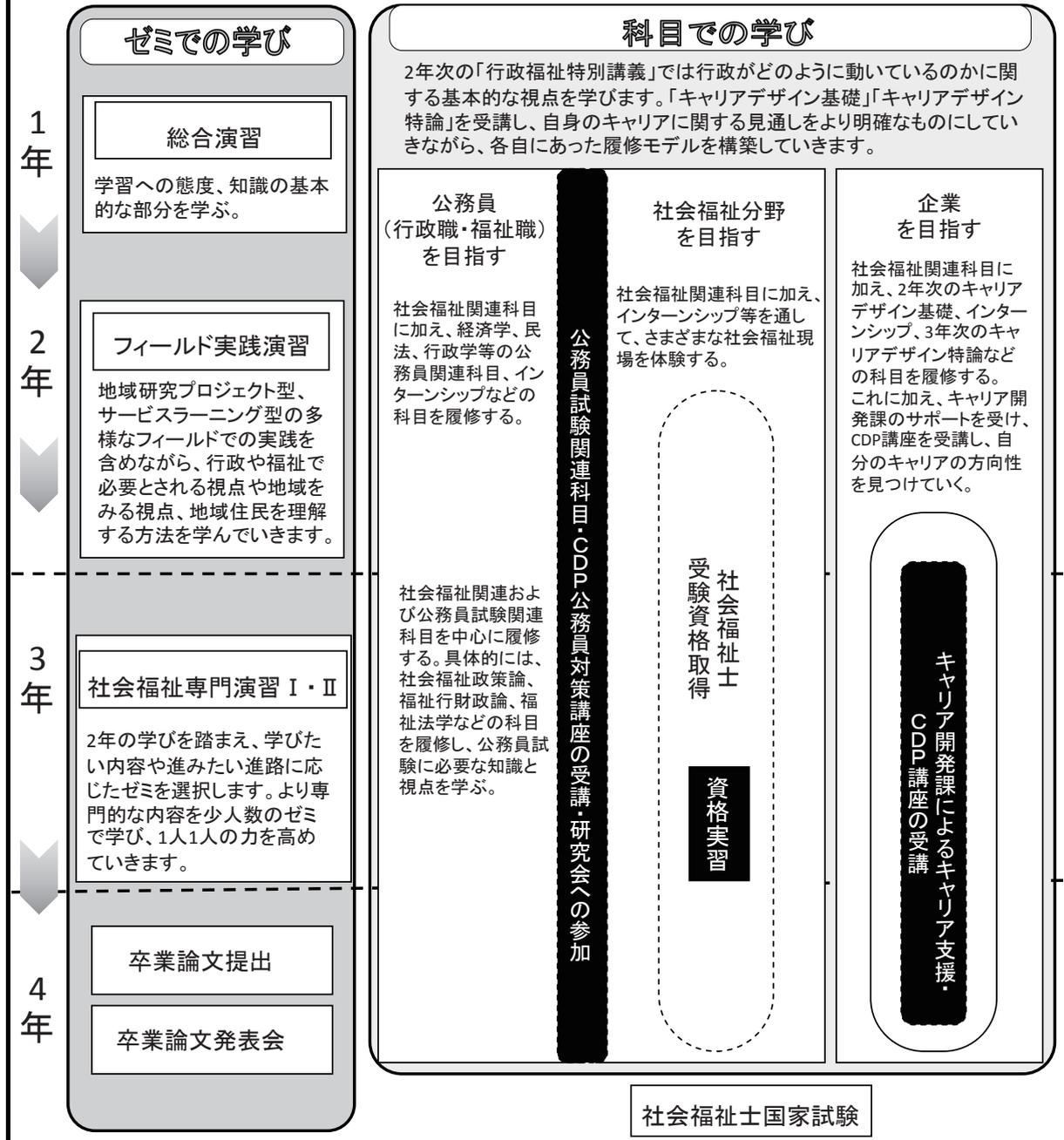


行政専修 学びの流れ

行政専修では、国家公務員、地方公務員（行政職・福祉職等）を真剣に目指し、1人1人が地域や社会に貢献していくことを実現させるに必要な知識、価値観、実行力を身に付けていくことを目標にします。具体的な学びの流れとしては、まず社会福祉関連科目を履修し、社会福祉学の基礎を固めます。それと同時に、1年次から公務員試験に関連する科目を履修していきます。2年次にはインターンシップがあり、公務員行政職・福祉職等に関連した職業体験を希望することができます。3年次からの専門演習が始まり、より専門的な学習を進めます。これに加え、1年次から始まるCDPの公務員対策講座、自主的な研究会などへの参加を通して、4年次の6月以降に実施される各公務員試験に向け、学習とモチベーションの両面をサポートしていきます。自身の目標に向かって、4年間共がんばっていきましょう！



履修モデル 【公務員行政職】志望の場合

※社会福祉士をめざす人は、**下記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。**
希望する学生は、必ず、学部ガイドの当該資格のページを確認してください。

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	推奨科目															
1年【履修上限4.8単位】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 法学 2 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 ▽ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ● フラッシュマ・インク リッシュ I-1 1 ● フラッシュマ・インク リッシュ I-2 1 ☆ フラッシュマ・インク リッシュ II-1 1 ◎☆ フラッシュマ・インク リッシュ II-2 1 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □◎☆ 社会福祉原論 I 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 I 2 ☆ 児童・家庭福祉論 2 ◎☆ ライフデザイン実践 I 2 社会福祉発達史 I 2 福祉行政と経済 2 																
<p>公務員行政職志望の場合は、公務員に向けて適的な科目を履修していくことになります。具体的には、福祉行政と経済、法学、日本国憲法などの科目を履修します。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です(自由科目)。</p>																		
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>42</td> </tr> </table>				科目数	12	10	0	22	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	22	20	0	42
科目数	12	10	0	22														
1年	基礎	専門	資格	学年														
単位	22	20	0	42														
2年【履修上限4.8単位】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ § フィールド実践演習 4 政治学 2 経済学 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 福祉データ処理演習 2 英語演習 I 1 英語演習 II 1 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 社会福祉方法原論 I 2 □☆ 社会福祉方法原論 II 2 □◎☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 ◎ 地域マネジメント実践 II 2 地方自治論 2 民法 4 行政法 4 行政学 2 財政学 2 インターンシップ I 1 ◎ 行政福祉特別講義 2 																
<p>社会福祉学に関する重要科目と、行政福祉特別講義、民法、行政法、行政学、財政学など公務員関連科目を履修する。CDP講座を受講し、公務員受験に向けた基礎を作る。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です(自由科目)。CDPの公務員関連講座を受講し、公務員試験に向けた基礎学力を固めます。</p>																		
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>16</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>45</td> </tr> </table>				科目数	8	13	0	21	2年	基礎	専門	資格	学年	単位	16	29	0	45
科目数	8	13	0	21														
2年	基礎	専門	資格	学年														
単位	16	29	0	45														
3年【履修上限4.8単位】	<ul style="list-style-type: none"> 国際関係論 2 現代基礎教養 2 	<ul style="list-style-type: none"> □ 社会保障論 II 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 □ 地域福祉論 II 2 東アジアの社会福祉 1 国際福祉論 2 地域開発論 2 インターンシップ II 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 総合政策学 2 福祉環境論 2 社会福祉政策論 2 労働法 4 社会福祉関係法 2 福祉法学 2 																
<p>社会保障論や福祉行財政など公務員試験に関連のある社会福祉学の科目を履修すると同時に、労働法など公務員試験の関連科目を履修する。CDPの公務員講座を受講し、公務員試験に向けた学習を深化させる。</p>																		
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>4</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>39</td> </tr> </table>				科目数	2	17	0	19	3年	基礎	専門	資格	学年	単位	4	35	0	39
科目数	2	17	0	19														
3年	基礎	専門	資格	学年														
単位	4	35	0	39														
4年【履修上限4.8単位】		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 地域マネジメント実践 III 2 																
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </table>				科目数	0	3	0	3	4年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	8	0	8
科目数	0	3	0	3														
4年	基礎	専門	資格	学年														
単位	0	8	0	8														

※この履修モデルは、専修(分野)で履修を推奨する科目です。なお、その他の科目の履修も可能です。

本	科目数	22	43	0	65
業	単位	42	92	0	134
要卒	単位	134			

注記

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
●: 必修科目、◎: 全員履修科目 (卒業には必修科目の単位修得が必要です)
【資格対応科目】
太字: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、☆: 教職(高校福祉)科目、▼: 保育士科目、§: スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【公務員福祉職】志望の場合

※社会福祉士をめざす人は、**下記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要**があります。
希望する学生は、必ず、学部ガイドの当該資格のページを確認してください。

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	推奨科目															
1年 履修上限 4.8単位	◎総合演習 4 法学 2 ☆日本国憲法 2 哲学 2 □社会学 2 □▼心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎☆ライフデザイン入門 2 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1	□☆医学概論 2 □社会保障論Ⅰ 2 □●☆▼社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼§児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践Ⅰ 2 社会福祉発達史Ⅰ 2 福祉行政と経済 2																
	<p>公務員福祉職志望の場合は、社会福祉士関連科目を履修し、社会福祉学の基礎を固めつつ、公務員に向けて適的な科目を履修していくことになります。具体的には、福祉行政と経済、法学、日本国憲法などの科目の履修が重要になります。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です(自由科目)。</p>																	
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>科目数</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>42</td> </tr> </table>				科目数	12	10	0	22	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	22	20	0	42
科目数	12	10	0	22														
1年	基礎	専門	資格	学年														
単位	22	20	0	42														
2年 履修上限 4.8単位	◎§フィールド実践演習 4 政治学 2 経済学 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 福祉データ処理演習 2 英語演習Ⅰ 1 英語演習Ⅱ 1	□☆社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ソーシャルワークⅠ 2 ☆ソーシャルワークⅡ 2 □●☆社会福祉原論Ⅱ 2 □地域福祉論Ⅰ 2 □☆障害者福祉論 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 地域マネジメント実践Ⅱ 2 ◎行政福祉特別講義 2 インターンシップⅠ 1 地方自治論 2																
	<p>社会福祉士関連科目、行政福祉特別講義を履修する。インターンシップを履修することにより、役場、社協など公務員と関連する現場の状況を体験的に把握する。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です(自由科目)。CDPの公務員関連講座を受講し、公務員試験に向けた基礎学力を固めます。</p>																	
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>科目数</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>41</td> </tr> </table>				科目数	8	15	0	23	2年	基礎	専門	資格	学年	単位	16	25	0	41
科目数	8	15	0	23														
2年	基礎	専門	資格	学年														
単位	16	25	0	41														
3年 履修上限 4.8単位	国際関係論 2 現代基礎教養 2	☆ソーシャルワークⅢ 2 □社会保障論Ⅱ 2 □保健医療サービス論 2 □福祉行政論 2 □権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □福祉計画論 2 ▼就労支援 1 司法福祉論 2 □地域福祉論Ⅱ 2 キャリアデザイン特論 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ソーシャルワーク実習 4 □▼ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 インターンシップⅡ 2 外国籍住民支援 1 ◎社会福祉専門演習Ⅰ 4 地域開発論 2																
	<p>社会福祉士関連科目を履修し、社会福祉学への理解を一層深めます。CDPの公務員講座を受講し、公務員対策に関する学習も進めていきます。</p>																	
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>科目数</td> <td>2</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>4</td> <td>39</td> <td>0</td> <td>43</td> </tr> </table>				科目数	2	19	0	21	3年	基礎	専門	資格	学年	単位	4	39	0	43
科目数	2	19	0	21														
3年	基礎	専門	資格	学年														
単位	4	39	0	43														
4年 履修上限 4.8単位		【卒業論文】 ☆ソーシャルワークⅣ 2 ☆高齢者福祉論Ⅱ 2 ●社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎卒業論文 2 地域マネジメント実践Ⅲ 2																
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> </table>			科目数	0	5	0	5	4年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	12	0	12
科目数	0	5	0	5														
4年	基礎	専門	資格	学年														
単位	0	12	0	12														

※この履修モデルは、専修(分野)で履修を推奨する科目です。なお、その他の科目の履修も可能です。

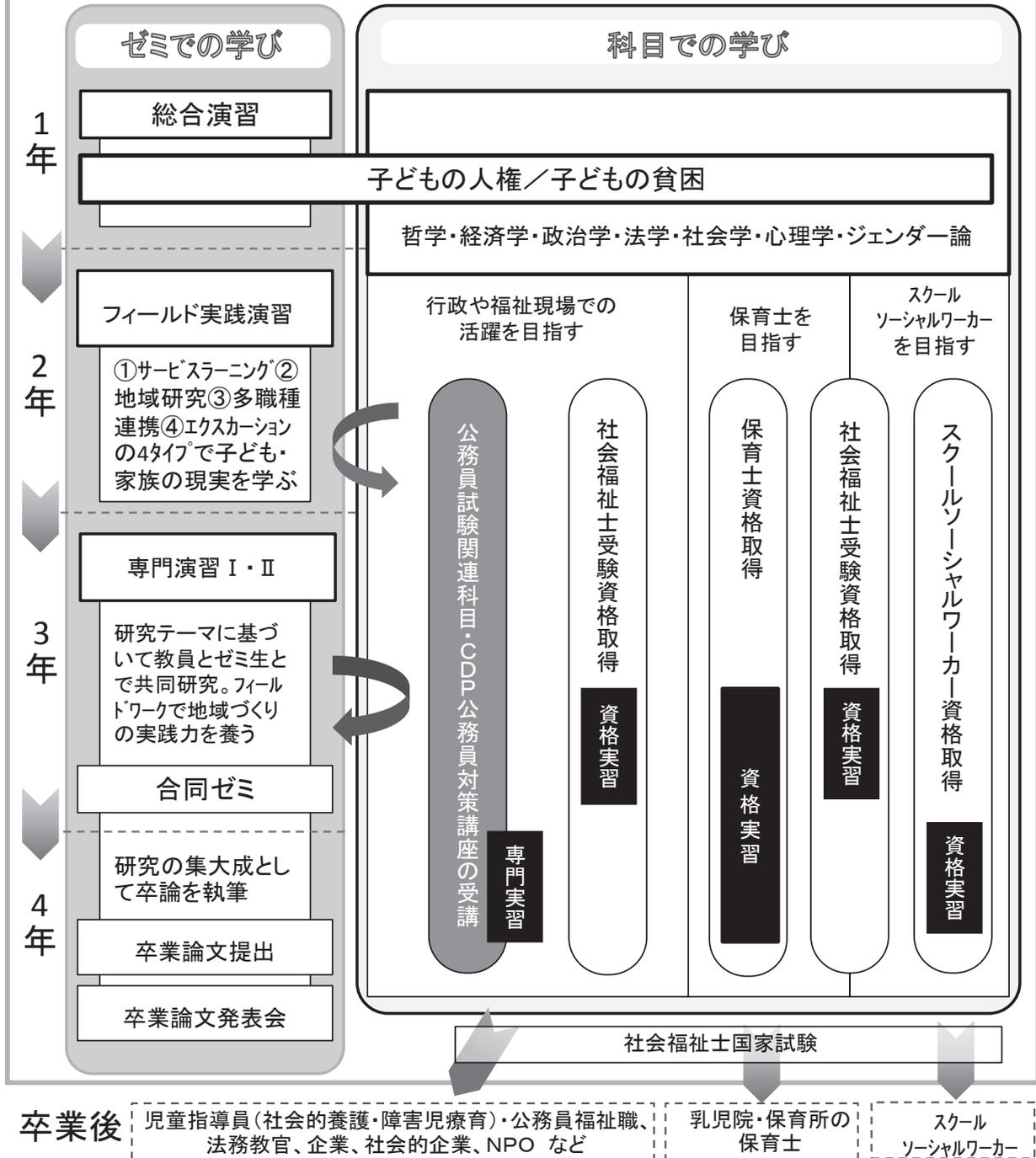
卒業	科目数	22	49	0	71
	単位	42	96	0	138
要卒業単位	138				

注記

- 卒業には12.4単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
●: 必修科目、◎: 全員履修科目(卒業には必修科目の単位修得が必要です)
【資格対応科目】
太字: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、☆: 教職(高校福祉)科目、
▼: 保育士科目、§: スクールソーシャルワーク科目

子ども専修 学びの流れ

子ども専修では、「子どもの人権」を軸に「子どもの貧困」など子ども・家族をめぐる社会問題に対して多角的に感じ、考え、解決するための必要な技能を身につけ、制度を創り出す人材を育てます。そのために、1・2年次には社会のしくみや問題の本質を理解し、3・4年次には子ども・家庭をめぐる各領域の課題を学びます。2～4年のゼミでは、これら学び得た知識・技能を活用し、子ども・家族が現実に生活する地域に入り、現代社会に求められる実践力を身につけます。



履修モデル 【社会的養護領域の職員】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	
1年	◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1 ●☆▼ 情報処理演習 I 2 ◎☆▼ 情報処理演習 II 2 ☆▼ スポーツ 2 ▼ 健康スポーツ論 2 ● ふくしとフィールドワーク 2	□☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆▼ 社会福祉原論 I 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 I 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 ▼ 家族社会学 2 地域社会学 2	科目数 16 9 0 25 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 30 18 0 48
2年	◎ § フィールド実践演習 4 ジェンダー論 2 現代生活論 2 経済学 2 政治学 2	□☆ 社会福祉方法原論 I 2 □☆ 社会福祉方法原論 II 2 ☆ ソーシャルワーク I 2 ☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習 I 1 □ ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 ▼ 福祉労働論 2 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 ▼ 教育原理 2 ▼ 子どもの保健 2 発達心理学 2 ▼ 保育原理 I 2 ▼ 保育原理 II 2 ◎▼ 子どもの福祉特別講義 2	科目数 5 20 0 25 2年 基礎 専門 資格 学年 単位 12 36 0 48
3年		☆ ソーシャルワーク III 2 □ 社会保障論 II 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論 II 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □ ソーシャルワーク演習 III 2 □ ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 ▼ 施設福祉論 2 ▼ 家族援助論 2 ▼ 障害児心理学 2	◎「社会福祉特別講座 I」 (1単位、自由科目) 科目数 0 19 0 19 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 0 40 0 40
4年		☆ ソーシャルワーク IV 2 ☆ 高齢者福祉論 II 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 ソーシャルワーク専門実習指導(児童) 1 ソーシャルワーク専門実習(児童) 2 ▼ 学童保育論 2 ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2	◎「社会福祉特別講座 II」 (2単位、自由科目) ◎「社会福祉特別講座 III」 (2単位、自由科目) 科目数 0 8 0 8 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 0 17 0 17
※この履修モデルは、専修(分修)で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。			卒 科目数 21 56 0 77 業 単位 42 111 0 153 要卒単位 146

注記

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 ●：必修科目、◎全員履修科目 (卒業には必修科目の単位修得が必要で)
 【資格対応科目】
 太字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職(高校福祉)科目、
 ▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【障害児療育領域の職員】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】		
1年	◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▽ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▽ フレッシュマン・インク®リッシュ I-1 1 ●▽ フレッシュマン・インク®リッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・インク®リッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・インク®リッシュ II-2 1 ●☆▽ 情報処理演習 I 2 ◎☆▽ 情報処理演習 II 2 ☆▽ スポーツ 2 ▼ 健康スポーツ論 2 ● ふくしとフィールドワーク 2	□☆ 医学概論 2 □ 社会保険論 I 2 □●☆▽ 社会福祉原論 I 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 I 2 ☆▽ § 児童・家庭福祉論 2 ▼ 家族社会学 2 障害者コミュニケーション 2	科目数 16 9 0 25 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 30 18 0 48	
2年	◎ § フィールド実践演習 4 ジェンダー論 2 経済学 2 政治学 2	□☆ 社会福祉方法原論 I 2 □☆ 社会福祉方法原論 II 2 ☆ ソーシャルワーク I 2 ☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習 I 1 □ ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 ▼ 福祉労働論 2 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 ▼ 教育原理 2 ▼ 子どもの保健 2 発達心理学 2 ▼ 保育原理 I 2 ▼ 保育原理 II 2 ◎▽ 子ども福祉特別講義 2	科目数 4 20 0 24 2年 基礎 専門 資格 学年 単位 10 36 0 46	
3年		☆ ソーシャルワークⅢ 2 □ 社会保険論Ⅱ 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論Ⅱ 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □ ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □ ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎ 社会福祉専門演習Ⅰ 4 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 ▼ 施設福祉論 2 ▼ 家族援助論 2 ▼ 障害児心理学 2	◎「社会福祉特別講座Ⅰ」 (1単位、自由科目)	科目数 0 19 0 19 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 0 40 0 40
4年		☆ ソーシャルワークⅣ 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅱ 2 ● 社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎ 卒業論文 2 ソーシャルワーク実習専門指導(障害) 1 ソーシャルワーク専門実習(障害) 2 ▼ 学童保育論 2 ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 障害者福祉論特講 2	◎「社会福祉特別講座Ⅱ」 (2単位、自由科目) ◎「社会福祉特別講座Ⅲ」 (2単位、自由科目)	科目数 0 9 0 9 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 0 19 0 19
※この履修モデルは、専修(分科)で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。			卒業 科目数 20 57 0 77 業 単位 40 113 0 153 要卒単位 146	

注記

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 ●：必修科目、◎：全員履修科目(卒業には必修科目の単位修得が必要です)
 【資格対応科目】
 太字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職(高校福祉)科目、
 ▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【スクールソーシャルワーカー】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	資格独自科目		
			§ スクールソーシャルワーカー	§ スクールソーシャルワーカー	
1 年	◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1 ●☆▼ 情報処理演習 I 2 ◎☆▼ 情報処理演習 II 2 ☆▼ スポーツ 2 ● ふくしとフィールドワーク 2	□☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆▼ 社会福祉原論 I 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 I 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 ▼ 家族社会学 2 地域社会学 2 □ § 精神保健学 I 2			
					科目数 15 10 0 25 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 28 20 0 48
2 年	◎ § フィールド実践演習 4 ジェンダー論 2 現代生活論 2 経済学 2 政治学 2	□☆ 社会福祉方法原論 I 2 □☆ 社会福祉方法原論 II 2 ☆ ソーシャルワーク I 2 ☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習 I 1 □ ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ▼ 教育原理 2 ▼ 子どもの保健 2 ◎▼ 子ども福祉特別講義 2	教職入門（中高） 2 教育制度論（中高） 2 教育と発達心理学（中高） 2 教育相談の基礎と方法（中高） 2		
					科目数 5 17 4 26 2年 基礎 専門 資格 学年 単位 12 30 8 50
3 年		☆ ソーシャルワーク III 2 □ 社会保障論 II 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論 II 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □ ソーシャルワーク演習 III 2 □ ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 ▼ 家族援助論 2 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 § 福祉教育論 1 ▼ 障害児心理学 2	生徒・進路指導論（中高） 2 特別支援教育概論（中高） 2		
					◎「社会福祉特別講座 I」 (1単位、自由科目)
4 年		☆ ソーシャルワーク IV 2 ☆ 高齢者福祉論 II 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 ▼ 学童保育論 2 ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2	スクールソーシャルワーク演習 1 スクールソーシャルワーク実習指導 1 スクールソーシャルワーク実習 2		
					◎「社会福祉特別講座 II」 (2単位、自由科目) ◎「社会福祉特別講座 III」 (2単位、自由科目)
				科目数 0 6 3 9 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 0 14 4 18	
				卒 科目数 15 35 5 55 業 単位 40 103 16 159 要卒業単位 137	

※この履修モデルは、専修（分野）で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。

注記

- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
●：必修科目、◎全員履修科目（卒業には必修科目の単位修得が必要です）
【資格対応科目】
大字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、
▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【乳児院・保育所等保育士】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	資格独自科目		
			▼保育課程▼		
1年	◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フルッシュマ・イングリッシュ I-1 1 ●▼ フルッシュマ・イングリッシュ I-2 1 ●☆ フルッシュマ・イングリッシュ II-1 1 ●☆ フルッシュマ・イングリッシュ II-2 1 ●☆ 情報処理演習 I 2 ◎☆ 情報処理演習 II 2 ☆▼ スポーツ 2 ▼ 健康スポーツ論 2 ● ふくしとフィールドワーク 2	□☆ 医学概論 2 □ 社会保険論 I 2 □●☆▼ 社会福祉原論 I 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 I 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 ▼ 家族社会学 2 地域社会学 2			科目数 16 9 0 25 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 30 18 0 48
2年	◎ § フィールド実践演習 4 ジェンダー論 2 経済学 2 政治学 2	□☆ 社会福祉方法原論 I 2 □☆ 社会福祉方法原論 II 2 ☆ ソーシャルワーク I 2 ☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習 I 1 □ ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 ▼ 福祉労働論 2 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ▼ 保育原理 I 2 ▼ 保育原理 II 2 ▼ 教育原理 2 ▼ 子どもの保健 2 ◎▼ 子どもの福祉特別講義 2	保育職論 2 子ども家庭支援の心理学 2 保育の心理学 2 子どもの理解と援助 1 子どもの保健演習 1 保育内容総論 1 保育内容A【からだと健康】 1 保育内容B【仲間と交わり】 1 保育内容E【感性と表現】 1 子どもの食と栄養演習 2 保育・教育課程論 2 乳児保育論 2 乳児保育演習 1 音楽演習 1 造形演習 1 身体表現演習 1		科目数 4 20 16 40 2年 基礎 専門 資格 学年 単位 10 36 22 68
3年		☆ ソーシャルワークⅢ 2 □ 社会保険論Ⅱ 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論Ⅱ 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □ ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □ ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎ 社会福祉専門演習Ⅰ 4 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 ▼ 施設福祉論 2 ▼ 家族援助論 2 ▼ 障害児心理学 2	保育内容C【生活と環境】 1 保育内容D【発達と言葉】 1 障害児保育演習 2 社会的養護内容演習 1 言語表現演習 1 子育て支援演習 1 保育実習Ⅰ-A 2 保育実習指導Ⅰ-A 1	◎「社会福祉特別講座Ⅰ」 (1単位、自由科目)	科目数 0 19 8 27 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 0 40 10 50
4年		☆ ソーシャルワークⅣ 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅱ 2 ● 社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎ 卒業論文 2 ▼ 学童保育論 2 ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2	保育実践演習 2 保育実習Ⅰ-B 2 保育実習指導Ⅰ-B 1 保育実習Ⅱ【保育所】 2 保育実習Ⅲ【施設】 2 保育実習指導Ⅱ【保育所】 1 保育実習指導Ⅲ【施設】 1	◎「社会福祉特別講座Ⅱ」 (2単位、自由科目) ◎「社会福祉特別講座Ⅲ」 (2単位、自由科目)	科目数 0 6 7 13 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 0 14 11 25

※この履修モデルは、専修(分限)で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。

卒業科目数	20	54	31	105
卒業単位	40	108	43	191
要卒業単位	144			

注記

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 ●: 必修科目、◎: 全員履修科目 (卒業には必修科目の単位修得が必要です)
 【資格対応科目】
 太字: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、☆: 教職(高校福祉)科目、
 ▼: 保育士科目、§: スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【児童相談所等公務員福祉職】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】																	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 法入門 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1 ●☆▼ 情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆▼ 情報処理演習Ⅱ 2 ☆▼ スポーツ 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論Ⅰ 2 □●☆▼ 社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 □ 高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼§ 児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践Ⅰ 2 福祉行政と経済 2 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>科目数</td> <td>18</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>48</td> </tr> </table>	科目数	18	9	0	25	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	30	18	0	48	
科目数	18	9	0	25															
1年	基礎	専門	資格	学年															
単位	30	18	0	48															
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎§ フィールド実践演習 4 政治学 2 経済学 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆ 社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワークⅠ 2 ☆ ソーシャルワークⅡ 2 □●☆ 社会福祉原論Ⅱ 2 □ 地域福祉論Ⅰ 2 □☆ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □ ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 地域マネジメント実践Ⅱ 2 ▼ 福祉労働論 2 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ◎▼ 子ども福祉特別講義 2 地域保健学 2 地方自治論 2 行政学 2 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>科目数</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>12</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>48</td> </tr> </table>	科目数	5	20	0	25	2年	基礎	専門	資格	学年	単位	12	36	0	48	
科目数	5	20	0	25															
2年	基礎	専門	資格	学年															
単位	12	36	0	48															
3年		<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワークⅢ 2 □ 社会保障論Ⅱ 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 1 □ 地域福祉論Ⅱ 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □ ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □ ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎ 社会福祉専門演習Ⅰ 4 ▼ 施設福祉論 2 ▼ 家族援助論 2 ▼ 障害児心理学 2 ☆§ スクールソーシャルワーク論 2 福祉法学 2 社会福祉関係法 2 福祉環境論 2 社会福祉政策論 2 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ◎「社会福祉特別講座Ⅰ」 (1単位、自由科目) </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>48</td> <td>0</td> <td>48</td> </tr> </table>	科目数	0	23	0	23	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	48	0	48	
科目数	0	23	0	23															
1年	基礎	専門	資格	学年															
単位	0	48	0	48															
4年		<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワークⅣ 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅱ 2 ● 社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎ 卒業論文 2 地域マネジメント実践Ⅲ 2 ソーシャルワーク実習専門指導 1 ソーシャルワーク専門実習 2 ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ◎「社会福祉特別講座Ⅱ」 (2単位、自由科目) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ◎「社会福祉特別講座Ⅲ」 (2単位、自由科目) </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> </table>	科目数	0	8	0	8	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	17	0	17	
科目数	0	8	0	8															
1年	基礎	専門	資格	学年															
単位	0	17	0	17															
			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>卒業</td> <td>科目数</td> <td>21</td> <td>60</td> <td>0</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>42</td> <td>119</td> <td>0</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>要卒業</td> <td>単位</td> <td colspan="3">167</td> </tr> </table>	卒業	科目数	21	60	0	81	単位	42	119	0	161	要卒業	単位	167		
卒業	科目数	21	60	0	81														
単位	42	119	0	161															
要卒業	単位	167																	

※この履修モデルは、専修(分限)で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。

注記

1. 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
2. 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
3. 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
4. 科目名の前の記号は次の通り。
 ●: 必修科目、◎: 全員履修科目(卒業には必修科目の単位修得が必要です)
 【資格対応科目】
 太字: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、☆: 教職(高校福祉)科目、
 ▼: 保育士科目、§: スクールソーシャルワーク科目

医療専修 学びの流れ (1~4年)

医療専修では、保健・医療と社会福祉をつなぐ力を持った人材を養成します。目の前にいる人のより良い人生のために、すべての人に公正な社会を実現するために、現状を変革する目と力を養います。ここでは、医療ソーシャルワーカー（MSW）と精神保健福祉士（PSW）を目指すケースを例にあげ、学びの流れを示しています。それ以外の職を目指す場合でも、保健医療福祉領域で働くには相当の知識・技術が求められます。該当科目をしっかりと履修し、価値に根ざした知識と技術を身につけていきます。



履修モデル【精神保健領域のソーシャルワーカー】をめざす場合

〔社会福祉士と精神保健福祉士受験資格も取得します〕

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】				
1年 〔履修上限4.8単位〕	◎総合演習 4 ☆★日本国憲法 2 ★哲学 2 □★社会学 2 □☆▼心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎☆ライフデザイン入門 2 ●▼フレッシュマン・インク®リッシュⅠ-1 1 ●▼フレッシュマン・インク®リッシュⅠ-2 1 ●☆☆フレッシュマン・インク®リッシュⅡ-1 1 ●☆☆フレッシュマン・インク®リッシュⅡ-2 1 ●ふくしとフィールドワーク 2 ●☆☆情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆☆情報処理演習Ⅱ 2	□☆医学概論 2 □社会保障論Ⅰ 2 □●☆☆社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼§児童・家庭福祉論 2 ★社会福祉発達史Ⅰ 2 地域マネジメント実践Ⅰ 2 □§精神保健学Ⅰ 2 □精神保健福祉論 2	科目数	13	11	24
			1年	基礎	専門	学年
			単位	26	22	48
2年 〔履修上限4.8単位〕	◎§フィールド実践演習 4 死生学 2	□☆社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ソーシャルワークⅠ 2 ☆ソーシャルワークⅡ 2 □●☆☆社会福祉原論Ⅱ 2 □地域福祉論Ⅰ 2 □☆障害者福祉論 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 地域保健学 2 ▼臨床心理学 2 発達心理学 2 地域マネジメント実践Ⅱ 2 □精神医学Ⅰ 2 □精神医学Ⅱ 2 □精神保健学Ⅱ 2 □精神保健福祉援助技術総論 2 □精神保健福祉制度論Ⅰ 2 医療福祉論Ⅰ 2 保健医療福祉論特講 2 ◎医療福祉特別講義 2	科目数	2	23	25
			2年	基礎	専門	学年
			単位	6	42	48
3年 〔履修上限4.8単位〕	社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得を目指し、バランス良く履修していきます。	☆ソーシャルワークⅢ 2 □社会保障論Ⅱ 2 □保健医療サービス論 2 □★福祉行財政論 2 □権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □福祉計画論 2 ▼就労支援 1 司法福祉論 2 □地域福祉論Ⅱ 2 ☆ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ソーシャルワーク実習 4 □▼ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎社会福祉専門演習Ⅰ 4 ケアマネジメント論 2 ケアマネジメント演習 2 障害者心理学 2 □精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ 4 □精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ 2 □精神保健福祉制度論Ⅱ 2 □精神保健福祉援助演習Ⅰ 1 □精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 1	科目数	0	23	23
			3年	基礎	専門	学年
			単位	0	48	48
4年 〔履修上限4.8単位〕	資格科目(精神保健福祉士援助演習・実習)を中心に履修し、卒業論文完成、国家試験W合格を目指して取り組んでいきます。	☆ソーシャルワークⅣ 2 ☆高齢者福祉論Ⅱ 2 ●社会福祉専門演習Ⅱ 4 障害者福祉論特講 2 □精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ 2 □精神保健福祉援助演習Ⅱ 2 □精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 2 □精神保健福祉援助実習 5 ◎卒業論文 2	科目数	0	9	9
			4年	基礎	専門	学年
			単位	0	23	23

※なお、この履修モデルは、専修(分野)で履修を推奨する科目です。その他の科目の履修も可能です。

卒業(科目)	15	66	81
卒業単位	32	135	167
要卒業単位	167		

注記

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し。資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 ●：必修科目、◎全員履修科目(卒業には必修科目の単位修得が必要です)
 【資格対応科目】
 太字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職(高校福祉)科目、
 ▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【医療ソーシャルワーカー】をめざす場合

〔社会福祉士受験資格も取得します〕

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】				
1年 〔履修上限4.8単位〕	◎総合演習 4 ☆★日本国憲法 2 ★哲学 2 □★社会学 2 □☆▼心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎☆ライフデザイン入門 2 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆★フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆★フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1 ●ふくしとフィールドワーク 2 ●☆★▼情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆★▼情報処理演習Ⅱ 2 ◎こころとからだ 2 ◎ヒューマンケアのための多職種連携 2	□☆医学概論 2 □社会保障論Ⅰ 2 □●☆▼社会福祉原論Ⅰ 2 □社会福祉調査論 2 □公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼§児童・家庭福祉論 2 ★社会福祉発達史Ⅰ 2 精神保健福祉論 2	科目数	16	9	25
			1年	基礎	専門	学年
			単位	30	18	48
2年 〔履修上限4.8単位〕	◎§フィールド実践演習 4 死生学 2	□☆社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ソーシャルワークⅠ 2 ☆ソーシャルワークⅡ 2 □●☆社会福祉原論Ⅱ 2 □地域福祉論Ⅰ 2 □☆障害者福祉論 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 ☆介護福祉論 2 ▼臨床心理学 2 発達心理学 2 □精神医学Ⅰ 2 □精神医学Ⅱ 2 □精神保健福祉制度論Ⅰ 2 精神保健学Ⅱ 2 リハビリテーション医学 2 地域保健学 2 医療福祉論Ⅰ 2 保健医療福祉論特講 2 ◎医療福祉特別講義 2	科目数	2	23	25
			2年	基礎	専門	学年
			単位	6	42	48
3年 〔履修上限4.8単位〕	社会福祉士受験科目に加え、保健医療福祉関連科目を履修していきます。	☆ソーシャルワークⅢ 2 □社会保障論Ⅱ 2 □保健医療サービス論 2 □★福祉行政論 2 □権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □福祉計画論 2 ▼就労支援 1 司法福祉論 2 □地域福祉論Ⅱ 2 ☆ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ソーシャルワーク実習 4 □▼ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎社会福祉専門演習Ⅰ 4 医療福祉論Ⅱ 2 ケアマネジメント論 2 ケアマネジメント演習 2 家族援助論 2 □精神保健福祉制度論Ⅱ 2 □精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ 4	科目数	0	21	21
			3年	基礎	専門	学年
			単位	0	46	46
4年 〔履修上限4.8単位〕	医療ソーシャルワーク演習・実習指導・実習やターミナルケアの履修により、MSWとしての実践的な知識・技術を高めています。	☆ソーシャルワークⅣ 2 ☆高齢者福祉論Ⅱ 2 ●社会福祉専門演習Ⅱ 4 ターミナルケア 2 医療ソーシャルワーク演習 2 医療ソーシャルワーク実習指導 1 医療ソーシャルワーク実習 2 ◎卒業論文 2	科目数	0	8	8
			4年	基礎	専門	学年
			単位	0	17	17

※なお、この履修モデルは、専修（分野）で履修を推奨する科目です。この他の科目の履修も可能です。

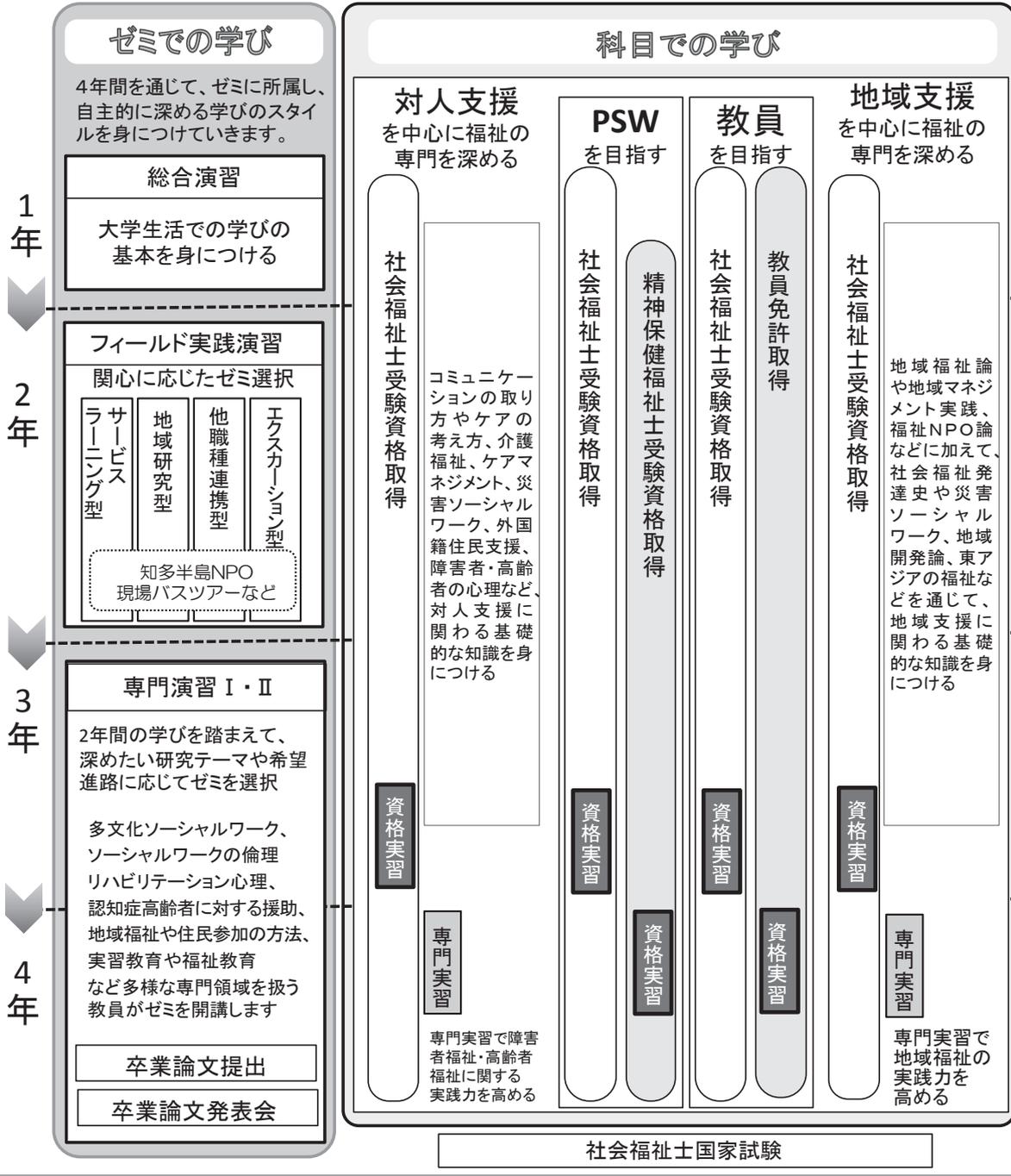
卒業	(科目)	18	61	79
単位		36	123	159
要卒業単位		159		

注記

- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 ●：必修科目、◎全員履修科目（卒業には必修科目の単位修得が必要です）
 【資格対応科目】
 太字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目

人間福祉専修 学びの流れ

人間福祉専修では、高齢者や障害者をはじめ、母子世帯、生活困窮世帯など地域での自立生活を送る上での様々な困難を抱えている多様な人たちに対して、一人ひとりの問題解決に向けた個別の支援方法から地域にはたらきかけて行う支援までを幅広く担うための知識・技術について学びを深めていきます。なお、本専修では、指定科目を履修することにより、社会福祉士の受験資格のほか、精神保健福祉士 (PSW) の受験資格、高校教員 (福祉科) の免許を取得することができます。



履修モデル

対人支援を中心に福祉の専門を深める場合

～暮らしにくさをかかえる人に直接かかわる支援から社会福祉を学びたい方～

※精神保健福祉士や高校教員(福祉)の資格取得をめざす人は、
下記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。
希望する学生は、必ず、学部ガイドの当該資格のページを確認してください。

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	科目数	基礎	専門	学年
1年 〔履修上限4.8単位〕	<ul style="list-style-type: none"> ◎総合演習 4 □社会学 2 ◎▼心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎ライフデザイン入門 2 ●▼フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1 ●▼フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1 文学 2 ●☆☆情報処理演習 I 2 ◎☆☆情報処理演習 II 2 ●ふくしとフィールドワーク 2 視覚障害者支援論 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆医学概論 2 □社会保険論 I 2 □社会福祉原論 I 2 ◎●☆☆社会福祉調査論 2 □公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論 I 2 ☆☆児童・家庭福祉論 2 障害者コミュニケーション 2 	14	8	22	1年 42
2年 〔履修上限4.8単位〕	<ul style="list-style-type: none"> ◎§フィールド実践演習 4 死生学 2 コミュニケーション力演習 2 文章作成力演習 2 政治学 2 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>3年次に行なう実習の準備が始まります。並行して、障害者福祉論、介護福祉論、ソーシャルワーク演習、ヒューマンケア論、災害ソーシャルワークなどを通じて、個別支援の基本的な考え方や知識を学びます。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> □☆社会福祉方法原論 I 2 □☆社会福祉方法原論 II 2 ☆ソーシャルワーク I 2 ☆ソーシャルワーク II 2 ◎●☆社会福祉原論 II 2 □地域福祉論 I 2 □☆障害者福祉論 2 □▼ソーシャルワーク演習 I 1 □▼ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 ヒューマンケア論 2 災害ソーシャルワーク 2 ☆介護福祉論 2 レクリエーション・ワーク論 2 レクリエーション実技 2 	5	16	21	2年 40
3年 〔履修上限4.8単位〕	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ケアマネジメント論・演習、障害者心理学、老年心理学、外国籍住民支援などを通じて、幅広い観点から対人支援の専門知識・技術を身につけていきます。また、ソーシャルワークの援助技術を学び、実習を行ないます。実習の他にも「在学ギャップイヤー」などの多様な学びの機会があります。さらに、外書講読などを通じて、より広い観点から</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ソーシャルワーク III 2 □社会保険論 II 2 □保健医療サービス論 2 □福祉行政論 2 □権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □福祉計画論 2 ▼就労支援 1 司法福祉論 2 □地域福祉論 II 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ☆ソーシャルワーク実習 4 □▼ソーシャルワーク演習 III 2 □▼ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎社会福祉専門演習 I 4 外国籍住民支援 1 ケアマネジメント論 2 ケアマネジメント演習 2 ☆障害者心理学 2 ☆老年心理学 2 	0	18	18	3年 41
4年 〔履修上限4.8単位〕	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4年間の学びの集大成として卒業論文を執筆します。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ソーシャルワーク IV 2 ソーシャルワーク専門実習(障害) 4 ☆高齢者福祉論 II 2 ●社会福祉専門演習 II 4 ◎卒業論文 2 障害者福祉論特講 2 	0	6	6	4年 16
			科目数	0	6	6
			4年	0	16	16
			単位	0	16	16
<p>※なお、この履修モデルは、専修(分野)の学びとして履修を推奨する科目です。 この他の科目の履修も可能です。</p>			卒業	19	48	67
			単位	38	101	139
			要卒業単位	139		

注記

- 卒業には12.4単位以上必要(総合基礎科目を2.8単位以上、専門科目を6.6単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。

●:必修科目、◎:全員履修科目、※:隔年で開講する科目

【資格対応科目】

太字:社会福祉士科目、□:精神保健福祉士科目、☆:教職(高校福祉)科目、

▼:保育士科目、§:スクールソーシャルワーク科目

履修モデル

地域支援を中心に福祉の専門を深める場合

～さまざまな人が暮らす地域に働きかける支援から社会福祉を学びたい方～

※精神保健福祉士や高校教員(福祉)の資格取得をめざす人は、
下記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。
希望する学生は、必ず、学部ガイドの当該資格のページを確認してください。

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	科目数 1年 単位	12 基礎	10 専門	22 学年
1年 【履修上限4.8単位】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1 ●☆▼ 情報処理演習 I 2 ◎☆▼ 情報処理演習 II 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●◎☆ 社会福祉原論 I 2 □ 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 I 2 ◎☆ 児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践 I 2 社会福祉発達史 I 2 地域社会学 2 	12	10	22	
2年 【履修上限4.8単位】	<ul style="list-style-type: none"> ◎§ フィールド実践演習 4 福祉データ処理演習 2 政治学 2 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>3年次に行なう実習の準備が始まります。並行して、地域福祉論 I や社会福祉発達史で地域福祉の基本的な考え方や知識を学びます。福祉NPO論や地域マネジメント実践、災害ソーシャルワークなどの関連領域を学びながら、地域支援・地域福祉への理解を深めていきます。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 社会福祉方法原論 I 2 □☆ 社会福祉方法原論 II 2 ☆ ソーシャルワーク I 2 ☆ ソーシャルワーク II 2 □●◎☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □▼ ソーシャルワーク演習 I 1 □▼ ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 地域マネジメント実践 II 2 社会福祉発達史 II 2 災害ソーシャルワーク 2 生涯教育論 I 2 レクリエーション・ワーク論 2 レクリエーション実技 2 福祉NPO論 2 ◎ 人間福祉特別講義 2 	3	19	21	
3年 【履修上限4.8単位】	<p>現代基礎教養 2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>福祉行財政論、福祉計画論、外国籍住民支援、地域開発論などで、地域福祉の実践に必要な専門知識・技術を身につけていきます。また、ソーシャルワークの援助技術を学び、実習を行います。実習の他にも「在学ギャップイヤー」などの多様な学びの機会があります。さらに、外書講読や東アジアの社会福祉を通じて、より広い観点からソーシャルワークを学ぶことをおすすめします。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワーク III 2 □ 社会保障論 II 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論 II 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □▼ ソーシャルワーク演習 III 2 □▼ ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 ソーシャルワーク外書講読 2 外国籍住民支援 1 生涯教育論 II 2 地域開発論 2 東アジアの社会福祉 1 	1	20	21	
4年 【履修上限4.8単位】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>4年間の学びの集大成として卒業論文を執筆します。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワーク IV 2 ソーシャルワーク専門実習(地域) 4 ☆ 高齢者福祉論 II 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 	0	5	5	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「社会福祉特別講座 I」 (1単位、自由科目)</p> </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「社会福祉特別講座 II」 (2単位、自由科目) 「社会福祉特別講座 III」</p> </div>			
<p>※なお、この履修モデルは、専修(分野)の学びとして履修を推奨する科目です。 この他の科目の履修も可能です。</p>			卒業 単位	16 54	69 138	
要卒単位			138			

注記

1. 卒業には12.4単位以上必要(総合基礎科目を2.8単位以上、専門科目を6.6単位以上必要)
2. 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
3. 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
4. 科目名の前の記号は次の通り。

●: 必修科目、◎: 全員履修科目、※: 隔年で開講する科目

資格対応科目

【資格対応科目】

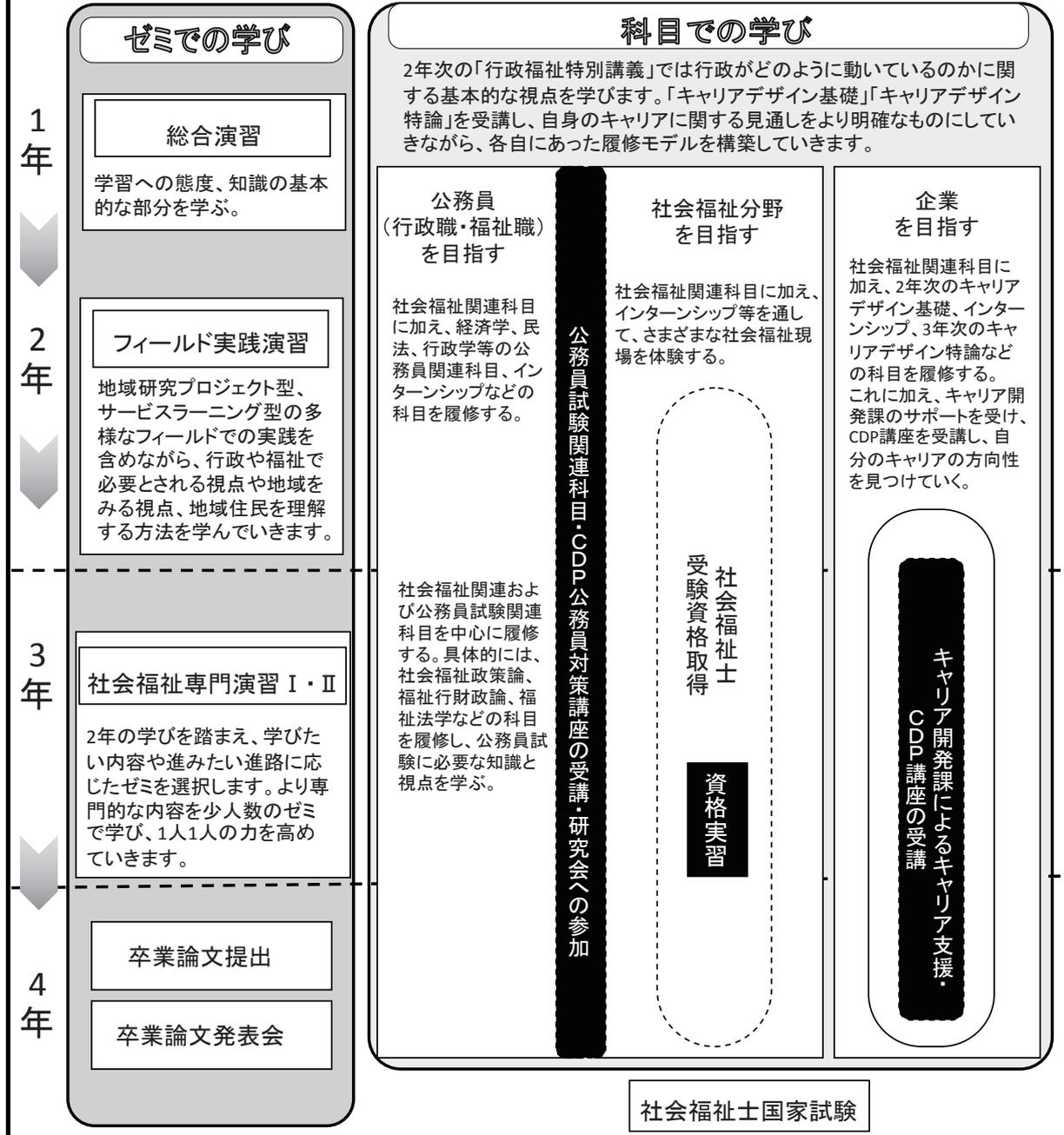
太字: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、☆: 教職(高校福祉)科目、

▼: 保育士科目、§: スカールソーシャルワーク科目

行政専修 学びの流れ

行政専修では、国家公務員、地方公務員（行政職・福祉職等）を真剣に目指し、1人1人が地域や社会に貢献していくことを実現させるに必要な知識、価値観、実行力を身に付けていくことを目標にします。具体的な学びの流れとしては、まず社会福祉関連科目を履修し、社会福祉学の基礎を固めます。それと同時に、1年次から公務員試験に関連する科目を履修していきます。2年次にはインターンシップがあり、公務員行政職・福祉職等に関連した職業体験を希望することができます。3年次からの専門演習が始まり、より専門的な学習を進めます。これに加え、1年次から始まるCDPの公務員対策講座、自主的な研究会などへの参加を通して、4年次の6月以降に実施される各公務員試験に向け、学習とモチベーションの両面をサポートしていきます。自身の目標に向かって、4年間共がんばっていきましょう！

2018年度以前入学生



履修モデル 【公務員行政職】志望の場合

※社会福祉士をめざす人は、**下記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。**
希望する学生は、必ず、学部ガイドの当該資格のページを確認してください。

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	推奨科目															
1年【履修上限48単位】	◎総合演習 4 法学 2 ☆日本国憲法 2 哲学 2 □社会学 2 □▼心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎☆ライフデザイン入門 2 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1	□☆医学概論 2 □社会保障論Ⅰ 2 □●☆社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼§児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践Ⅰ 2 社会福祉発達史Ⅰ 2 福祉行政と経済 2																
<p>公務員行政職志望の場合は、公務員に向けて適的な科目を履修していくことになります。具体的には、福祉行政と経済、法学、日本国憲法などの科目を履修します。社会福祉学に関する関連科目を履修することで、その基礎を学びます。CDPの公務員関連講座を受講し、公務員試験に向けた基礎を作ります。</p>																		
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>42</td> </tr> </table>				科目数	12	10	0	22	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	22	20	0	42
科目数	12	10	0	22														
1年	基礎	専門	資格	学年														
単位	22	20	0	42														
2年【履修上限48単位】	◎§フィールド実践演習 4 政治学 2 経済学 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 福祉データ処理演習 2 英語演習Ⅰ 1 英語演習Ⅱ 1	□☆社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆社会福祉方法原論Ⅱ 2 □●☆社会福祉原論Ⅱ 2 □地域福祉論Ⅰ 2 □☆障害者福祉論 2 キャリアデザイン基礎 2 地域マネジメント実践Ⅱ 2 地方自治論 2 民法 4 行政法 4 行政学 2 財政学 2 インターンシップⅠ 1 ◎行政福祉特別講義 2																
<p>社会福祉学に関する重要科目と、行政福祉特別講義、民法、行政法、行政学、財政学など公務員関連科目を履修します。CDP講座を受講し、公務員受験に向けた基礎を作ります。</p>																		
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>16</td> <td>31</td> <td>0</td> <td>47</td> </tr> </table>				科目数	8	14	0	22	2年	基礎	専門	資格	学年	単位	16	31	0	47
科目数	8	14	0	22														
2年	基礎	専門	資格	学年														
単位	16	31	0	47														
3年【履修上限48単位】	国際関係論 2 現代基礎教養 2	□社会保障論Ⅱ 2 □保健医療サービス論 2 □福祉行政論 2 □福祉計画論 2 ▼就労支援 1 □地域福祉論Ⅱ 2 キャリアデザイン特論 2 国際福祉論 2 地域開発論 2 インターンシップⅡ 1 ◎社会福祉専門演習Ⅰ 4 総合政策学 2 福祉環境論 2 社会福祉政策論 2 労働法 4 社会福祉関係法 2 福祉法学 2																
<p>社会保障論や福祉行政など公務員試験に関連のある社会福祉学の科目を履修すると同時に、労働法など公務員試験の関連科目を履修します。CDPの公務員講座を受講し、公務員試験に向けた学習を深化させます。</p>																		
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>4</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>40</td> </tr> </table>				科目数	2	17	0	19	3年	基礎	専門	資格	学年	単位	4	36	0	40
科目数	2	17	0	19														
3年	基礎	専門	資格	学年														
単位	4	36	0	40														
4年【履修上限48単位】		【必修 共通】 ●社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎卒業論文 2 地域マネジメント実践Ⅲ 2																
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </table>				科目数	0	3	0	3	4年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	8	0	8
科目数	0	3	0	3														
4年	基礎	専門	資格	学年														
単位	0	8	0	8														

※この履修モデルは、専修（分野）で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。

卒業	科目数	22	50	0	72
単位	42	106	0	148	
要卒業	単位	148			

注記

- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り
 ●：必修科目、◎：全員履修科目（卒業には必修科目の単位修得が必要です）
 【資格対応科目】
 太字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、★：教職（中学校社会・高校公民）科目
 ▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーカー科目

履修モデル 【公務員福祉職】志望の場合

※社会福祉士をめざす人は、**下記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。**
希望する学生は、必ず、学部ガイドの当該資格のページを確認してください。

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	推奨科目																
1年【履修上限4.8単位】	◎総合演習 4 法学 2 ☆日本国憲法 2 哲学 2 □社会学 2 □心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎☆ライフデザイン入門 2 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1	□☆医学概論 2 □社会保険論Ⅰ 2 □●☆社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践Ⅰ 2 社会福祉発達史Ⅰ 2 福祉行政と経済 2																	
<p>公務員福祉職志望の場合は、社会福祉士関連科目を履修し、社会福祉学の基礎を固めつつ、公務員に向けて適的な科目を履修していくことになります。具体的には、福祉行政と経済、法学、日本国憲法などの科目の履修が重要になります。</p>																			
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>42</td> </tr> </table>				科目数	12	10	0	22	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	22	20	0	42	
科目数	12	10	0	22															
1年	基礎	専門	資格	学年															
単位	22	20	0	42															
2年【履修上限4.8単位】	◎§フィールド下実践演習 4 政治学 2 経済学 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 福祉データ処理演習 2 英語演習Ⅰ 1 英語演習Ⅱ 1	□☆社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ソーシャルワークⅠ 2 ☆ソーシャルワークⅡ 2 □●☆社会福祉原論Ⅱ 2 □地域福祉論Ⅰ 2 □☆障害者福祉論 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 地域マネジメント実践Ⅱ 2 ◎行政福祉特別講義 2 インターンシップⅠ 1 地方自治論 2																	
<p>社会福祉士関連科目、行政福祉特別講義を履修します。インターンシップを履修することにより、役場、社協など公務員と関連する現場の状況を体験的に把握します。</p>																			
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>41</td> </tr> </table>				科目数	8	15	0	23	2年	基礎	専門	資格	学年	単位	16	25	0	41	
科目数	8	15	0	23															
2年	基礎	専門	資格	学年															
単位	16	25	0	41															
3年【履修上限4.8単位】	国際関係論 2 現代基礎教養 2	☆ソーシャルワークⅢ 2 □社会保険論Ⅱ 2 □保健医療サービス論 2 □福祉行政論 2 □権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □福祉計画論 2 ▼就労支援 1 司法福祉論 2 □地域福祉論Ⅱ 2 キャリアデザイン特論 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ソーシャルワーク実習 4 □▼ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 インターンシップⅡ 2 外国籍住民支援 1 ◎社会福祉専門演習Ⅰ 4																	
<p>社会福祉士関連科目を履修し、社会福祉学への理解を一層深めます。CDPの公務員講座を受講し、公務員対策に関する学習も進めていきます。</p>																			
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>4</td> <td>37</td> <td>0</td> <td>41</td> </tr> </table>				科目数	2	18	0	20	3年	基礎	専門	資格	学年	単位	4	37	0	41	
科目数	2	18	0	20															
3年	基礎	専門	資格	学年															
単位	4	37	0	41															
4年【履修上限4.8単位】		【全専修 共通】 ☆ソーシャルワークⅣ 2 ☆高齢者福祉論Ⅱ 2 ●社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎卒業論文 2 地域マネジメント実践Ⅲ 2																	
<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> </table>				科目数	0	5	0	5	4年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	12	0	12	
科目数	0	5	0	5															
4年	基礎	専門	資格	学年															
単位	0	12	0	12															
<table border="1"> <tr> <td>卒業</td> <td>科目数</td> <td>22</td> <td>46</td> <td>0</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>44</td> <td>91</td> <td>0</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>要卒業単位</td> <td colspan="4">135</td> </tr> </table>				卒業	科目数	22	46	0	68	単位	44	91	0	135	要卒業単位	135			
卒業	科目数	22	46	0	68														
単位	44	91	0	135															
要卒業単位	135																		

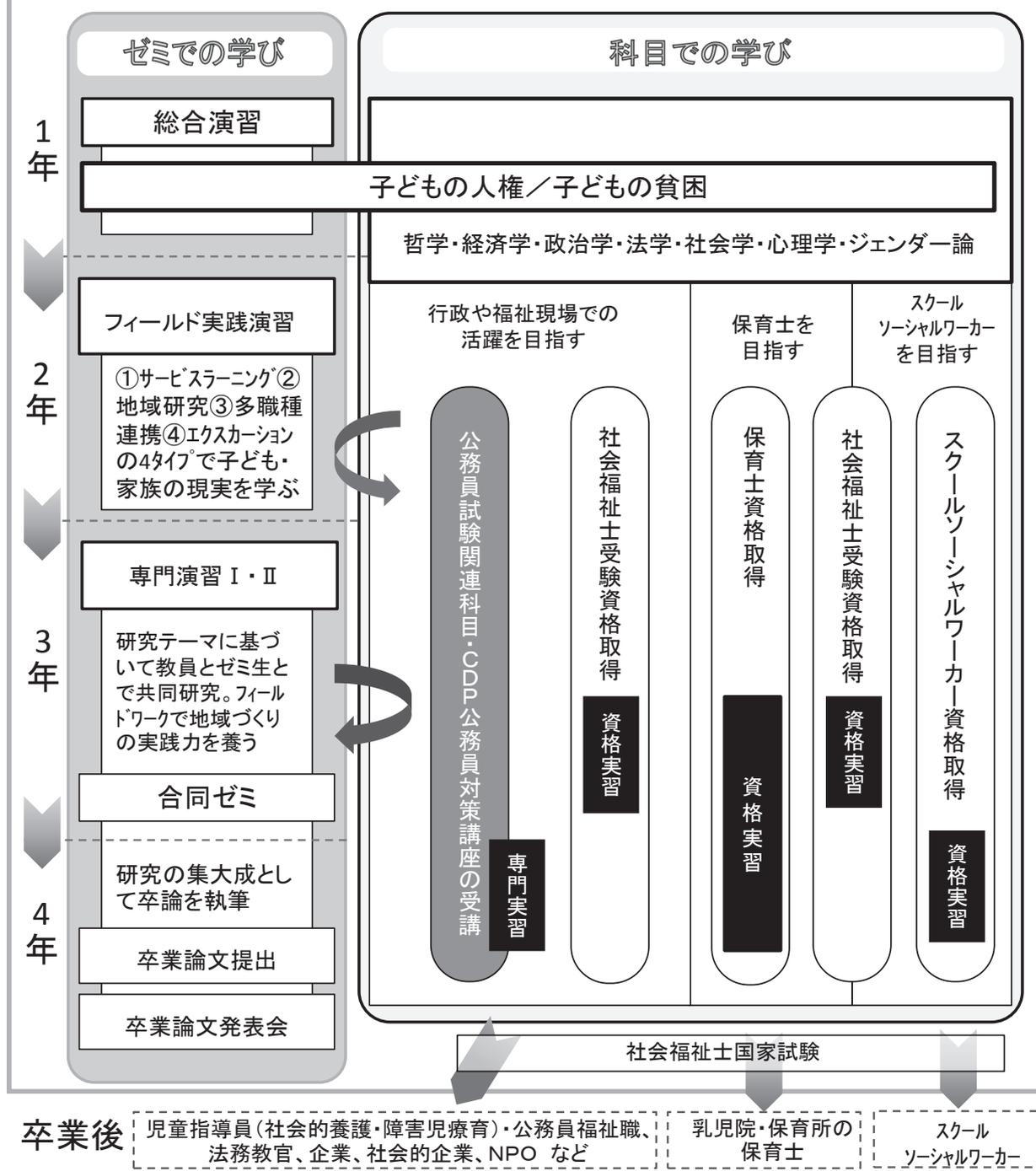
※この履修モデルは、専修（分野）で履修を推奨する科目です。なお、その他の科目の履修も可能です。

注記

- 卒業には12.4単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 ●：必修科目、◎：全員履修科目（卒業には必修科目の単位修得が必要です）
 【資格対応科目】
 太字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、★：教職（中学社会・高校公民）科目
 ▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目

子ども専修 学びの流れ

子ども専修では、「子どもの人権」を軸に「子どもの貧困」など子ども・家族をめぐる社会問題に対して多角的に感じ、考え、解決するための必要な技能を身につけ、制度を創り出す人材を育てます。そのために、1・2年次には社会のしくみや問題の本質を理解し、3・4年次には子ども・家庭をめぐる各領域の課題を学びます。2～4年のゼミでは、これら学び得た知識・技能を活用し、子ども・家族が現実に生活する地域に入り、現代社会に求められる実践力を身につけます。



2018年度以前入学生

履修モデル 【社会的養護領域の職員】をめざす場合

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】																			
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1 ●◎☆ 情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆▼ 情報処理演習Ⅱ 2 ☆▼ スポーツ 2 ▼ 健康スポーツ論 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論Ⅰ 2 □◎☆▼ 社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 家族社会学 2 地域社会学 2 	<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>48</td> </tr> </table>	科目数	16	9	0	25	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	30	18	0	48			
科目数	16	9	0	25																	
1年	基礎	専門	資格	学年																	
単位	30	18	0	48																	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ § フィールド実践演習 4 ジェンダー論 2 現代生活論 2 経済学 2 政治学 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆ 社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワークⅠ 2 ☆ ソーシャルワークⅡ 2 □◎☆ 社会福祉原論Ⅱ 2 □ 地域福祉論Ⅰ 2 □☆ 障害者福祉論 2 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 福祉労働論 2 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ▼ 保育原理Ⅰ 2 ▼ 保育原理Ⅱ 2 ◎ 子ども福祉特別講義 2 	<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>12</td> <td>32</td> <td>0</td> <td>44</td> </tr> </table>	科目数	5	18	0	23	2年	基礎	専門	資格	学年	単位	12	32	0	44			
科目数	5	18	0	23																	
2年	基礎	専門	資格	学年																	
単位	12	32	0	44																	
3年		<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワークⅢ 2 □ 社会保障論Ⅱ 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論Ⅱ 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎ 社会福祉専門演習Ⅰ 4 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 ▼ 施設福祉論 2 家族援助論 2 ▼ 障害児心理学 2 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ◎「社会福祉特別講座Ⅰ」 (1単位、自由科目) </div> <table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>40</td> </tr> </table>	科目数	0	19	0	19	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	40	0	40			
科目数	0	19	0	19																	
1年	基礎	専門	資格	学年																	
単位	0	40	0	40																	
4年		<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワークⅣ 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅱ 2 ● 社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎ 卒業論文 2 ▼ 学童保育論 2 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ◎「社会福祉特別講座Ⅱ」 (2単位、自由科目) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ◎「社会福祉特別講座Ⅲ」 (2単位、自由科目) </div> <table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>14</td> </tr> </table>	科目数	0	6	0	6	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	14	0	14			
科目数	0	6	0	6																	
1年	基礎	専門	資格	学年																	
単位	0	14	0	14																	
※この履修モデルは、専修(分野)で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。			<table border="1"> <tr> <td>卒業</td> <td>科目数</td> <td>21</td> <td>52</td> <td>0</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>業</td> <td>単位</td> <td>42</td> <td>104</td> <td>0</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>要卒</td> <td>単位</td> <td colspan="4">146</td> </tr> </table>	卒業	科目数	21	52	0	73	業	単位	42	104	0	146	要卒	単位	146			
卒業	科目数	21	52	0	73																
業	単位	42	104	0	146																
要卒	単位	146																			

注記

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 - ：必修科目、◎全員履修科目(卒業には必修科目の単位修得が必要です)
 【資格対応科目】
 太字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職(高校福祉)科目、
 ▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【障害児療育領域の職員】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】																			
1年	◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1 ●☆▼ 情報処理演習 I 2 ◎☆▼ 情報処理演習 II 2 ☆▼ スポーツ 2 ▼ 健康スポーツ論 2 ● ふくしとフィールドワーク 2	□☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆▼ 社会福祉原論 I 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 I 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 家族社会学 2 障害者コミュニケーション 2	科目数 16 9 0 1年 基礎 専門 資格 単位 30 18 0	<table border="1"> <tr><td>25</td></tr> <tr><td>学年</td></tr> <tr><td>48</td></tr> </table>	25	学年	48														
25																					
学年																					
48																					
2年	◎§ フィールド実践演習 4 ジェンダー論 2 経済学 2 政治学 2	□☆ 社会福祉方法原論 I 2 □☆ 社会福祉方法原論 II 2 ☆ ソーシャルワーク I 2 ☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □▼ ソーシャルワーク演習 I 1 □▼ ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 福祉労働論 2 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ▼ 保育原理 I 2 ▼ 保育原理 II 2 ◎ 子ども福祉特別講義 2	科目数 4 18 0 2年 基礎 専門 資格 単位 10 32 0	<table border="1"> <tr><td>22</td></tr> <tr><td>学年</td></tr> <tr><td>42</td></tr> </table>	22	学年	42														
22																					
学年																					
42																					
3年		☆ ソーシャルワーク III 2 □ 社会保障論 II 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論 II 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □▼ ソーシャルワーク演習 III 2 □▼ ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 ▼ 施設福祉論 2 家族援助論 2 ▼ 障害児心理学 2	◎「社会福祉特別講座 I」 (1単位、自由科目)	科目数 0 19 0 1年 基礎 専門 資格 単位 0 40 0	<table border="1"> <tr><td>19</td></tr> <tr><td>学年</td></tr> <tr><td>40</td></tr> </table>	19	学年	40													
19																					
学年																					
40																					
4年		☆ ソーシャルワーク IV 2 ☆ 高齢者福祉論 II 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 ▼ 学童保育論 2 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 障害者福祉論特講 2	◎「社会福祉特別講座 II」 (2単位、自由科目) ◎「社会福祉特別講座 III」 (2単位、自由科目)	科目数 0 7 0 1年 基礎 専門 資格 単位 0 16 0	<table border="1"> <tr><td>7</td></tr> <tr><td>学年</td></tr> <tr><td>16</td></tr> </table>	7	学年	16													
7																					
学年																					
16																					
※この履修モデルは、専修(分修)で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。			<table border="1"> <tr><td>卒</td><td>科目数</td><td>20</td><td>53</td><td>0</td><td>73</td></tr> <tr><td>業</td><td>単位</td><td>40</td><td>106</td><td>0</td><td>146</td></tr> <tr><td>要卒</td><td>単位</td><td colspan="3">146</td><td></td></tr> </table>	卒	科目数	20	53	0	73	業	単位	40	106	0	146	要卒	単位	146			
卒	科目数	20	53	0	73																
業	単位	40	106	0	146																
要卒	単位	146																			

注記

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 ●：必修科目、◎：全員履修科目 (卒業には必修科目の単位修得が必要です)
 【資格対応科目】
 太字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職(高校福祉)科目、
 ▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【スクールソーシャルワーカー】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	資格独自科目																	
			§スクールソーシャルワーカー§																	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1 ●☆☆ 情報処理演習 I 2 ◎☆☆ 情報処理演習 II 2 ☆☆ スポーツ 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆☆ 社会福祉原論 I 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 I 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 家族社会学 2 地域社会学 2 □ § 精神保健学 I 2 			<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>28</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>48</td> </tr> </table>	科目数	15	10	0	25	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	28	20	0	48
科目数	15	10	0	25																
1年	基礎	専門	資格	学年																
単位	28	20	0	48																
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ § フィールド実践演習 4 ジェンダー論 2 現代生活論 2 経済学 2 政治学 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 社会福祉方法原論 I 2 □☆ 社会福祉方法原論 II 2 ☆ ソーシャルワーク I 2 ☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □▼ ソーシャルワーク演習 I 1 □▼ ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ◎ 子ども福祉特別講義 2 	<ul style="list-style-type: none"> 教職入門 B 2 教育制度論 B 2 教育心理学概論 2 教育相談の基礎と方法 B 2 		<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>12</td> <td>26</td> <td>8</td> <td>46</td> </tr> </table>	科目数	5	15	4	24	2年	基礎	専門	資格	学年	単位	12	26	8	46
科目数	5	15	4	24																
2年	基礎	専門	資格	学年																
単位	12	26	8	46																
3年		<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワーク III 2 □ 社会保障論 II 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論 II 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □▼ ソーシャルワーク演習 III 2 □▼ ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 家族援助論 2 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 § 福祉教育論 1 ▼ 障害児心理学 2 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・進路指導論 B 2 	<p>◎「社会福祉特別講座 I」 (1単位、自由科目)</p>	<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>39</td> <td>2</td> <td>41</td> </tr> </table>	科目数	0	19	1	20	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	39	2	41
科目数	0	19	1	20																
1年	基礎	専門	資格	学年																
単位	0	39	2	41																
4年		<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワーク IV 2 ☆ 高齢者福祉論 II 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 	<ul style="list-style-type: none"> スクールソーシャルワーク演習 1 スクールソーシャルワーク実習指導 1 スクールソーシャルワーク実習 2 	<p>◎「社会福祉特別講座 II」 (2単位、自由科目)</p> <p>◎「社会福祉特別講座 III」 (2単位、自由科目)</p>	<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> </table>	科目数	0	5	3	8	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	12	4	16
科目数	0	5	3	8																
1年	基礎	専門	資格	学年																
単位	0	12	4	16																

卒業	科目数	20	49	8	77
業	単位	40	97	14	151
要卒業	単位	137			

※この履修モデルは、専修（分野）で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。

履修モデル 【乳児院・保育所等保育士】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	資格独自科目																
			▼保育課程▼																
1年	◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1 ●☆ 情報処理演習 I 2 ◎☆ 情報処理演習 II 2 ☆▼ スポーツ 2 ▼ 健康スポーツ論 2 ● ふくしとフィールドワーク 2	□☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆▼ 社会福祉原論 I 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 I 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 家族社会学 2 地域社会学 2			科目数 16 9 0 25 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 30 18 0 48														
	◎ § フィールド実践演習 4 ジェンダー論 2 経済学 2 政治学 2	□☆ 社会福祉方法原論 I 2 □☆ 社会福祉方法原論 II 2 ☆ ソーシャルワーク I 2 ☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □▼ ソーシャルワーク演習 I 1 □▼ ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 福祉労働論 2 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ▼ 保育原理 I 2 ▼ 保育原理 II 2 ◎ 子ども福祉特別講義 2	初等教育原理 2 保育職論 2 教育と発達の心理学 2 保育心理学演習 1 子どもの保健A 2 保育内容総論 1 保育内容A【からだと健康】 1 保育内容B【仲間と交わり】 1 保育方法論 I 2 子どもの保健演習 1 子どもの食と栄養演習 2 保育課程論 2 保育内容E【感性と表現】 1 乳児保育演習 2 音楽演習 1 造形演習 1 身体表現演習 1		科目数 4 18 17 39 2年 基礎 専門 資格 学年 単位 10 32 25 67														
3年		☆ ソーシャルワーク III 2 □ 社会保障論 II 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論 II 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □▼ ソーシャルワーク演習 III 2 □▼ ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 ▼ 施設福祉論 2 家族援助論 2 ▼ 障害児心理学 2	保育内容C【生活と環境】 1 保育内容D【発達と言葉】 1 障害児保育演習 2 社会的養護内容演習 1 子どもの保健B 2 言語表現演習 1 保育方法論 II 2 保育実習 I-A 2 保育実習指導 I-A 1	◎「社会福祉特別講座 I」 (1単位、自由科目)	科目数 0 19 9 28 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 0 40 13 53														
	4年	☆ ソーシャルワーク IV 2 ☆ 高齢者福祉論 II 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 ▼ 学童保育論 2 子ども家庭ソーシャルワーク論 2	保育実践演習 2 教育福祉論 2 家庭支援論 2 保育実習 I-B 2 保育実習指導 I-B 1 保育実習 II【保育所】 2 保育実習 III【施設】 2 保育実習指導 II【保育所】 1 保育実習指導 III【施設】 1	◎「社会福祉特別講座 II」 (2単位、自由科目) ◎「社会福祉特別講座 III」 (2単位、自由科目)	科目数 0 6 9 15 1年 基礎 専門 資格 学年 単位 0 14 15 29														
※この履修モデルは、専修(分修)で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。																			
<table border="1"> <tr> <td>卒業科目数</td> <td>20</td> <td>52</td> <td>35</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>卒業単位</td> <td>40</td> <td>104</td> <td>53</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>要卒業単位</td> <td colspan="4">144</td> </tr> </table>					卒業科目数	20	52	35	107	卒業単位	40	104	53	197	要卒業単位	144			
卒業科目数	20	52	35	107															
卒業単位	40	104	53	197															
要卒業単位	144																		

注記

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
●: 必修科目、◎: 全員履修科目 (卒業には必修科目の単位修得が必要です)
【資格対応科目】
太字: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、☆: 教職(高校福祉)科目、
▼: 保育士科目、§: スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【児童相談所等公務員福祉職】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】																	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 法入門 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・インク®リッシュⅠ-1 1 ●▼ フレッシュマン・インク®リッシュⅠ-2 1 ●☆ フレッシュマン・インク®リッシュⅡ-1 1 ●☆ フレッシュマン・インク®リッシュⅡ-2 1 ●☆▼ 情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆▼ 情報処理演習Ⅱ 2 ☆▼ スポーツ 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論Ⅰ 2 □●☆▼ 社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践Ⅰ 2 家族社会学 2 福祉行政と経済 2 	<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>50</td> </tr> </table>	科目数	16	10	0	26	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	30	20	0	50	
科目数	16	10	0	26															
1年	基礎	専門	資格	学年															
単位	30	20	0	50															
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ § フィールド実践演習 4 政治学 2 経済学 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆ 社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆ 社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワークⅠ 2 ☆ ソーシャルワークⅡ 2 □●☆ 社会福祉原論Ⅱ 2 □ 地域福祉論Ⅰ 2 □☆ 障害者福祉論 2 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 地域マネジメント実践Ⅱ 2 福祉労働論 2 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ◎ 子ども福祉特別講義 2 地域保健学 2 地方自治論 2 行政学 2 	<table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>12</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>48</td> </tr> </table>	科目数	5	20	0	25	2年	基礎	専門	資格	学年	単位	12	36	0	48	
科目数	5	20	0	25															
2年	基礎	専門	資格	学年															
単位	12	36	0	48															
3年		<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワークⅢ 2 □ 社会保障論Ⅱ 2 □ 保健医療サービス論 2 □ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論Ⅱ 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎ 社会福祉専門演習Ⅰ 4 ▼ 施設福祉論 2 家族援助論 2 ▼ 障害児心理学 2 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 福祉法学 2 社会福祉関係法 2 地域開発論 2 総合政策学 2 福祉環境論 2 社会福祉政策論 2 	<p>◎「社会福祉特別講座Ⅰ」 (1単位、自由科目)</p> <table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>52</td> <td>0</td> <td>52</td> </tr> </table>	科目数	0	25	0	25	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	52	0	52	
科目数	0	25	0	25															
1年	基礎	専門	資格	学年															
単位	0	52	0	52															
4年		<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワークⅣ 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅱ 2 ● 社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎ 卒業論文 2 地域マネジメント実践Ⅲ 2 ソーシャルワーク実習専門指導 1 ソーシャルワーク専門実習 2 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 	<p>◎「社会福祉特別講座Ⅱ」 (2単位、自由科目)</p> <p>◎「社会福祉特別講座Ⅲ」 (2単位、自由科目)</p> <table border="1"> <tr> <td>科目数</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>基礎</td> <td>専門</td> <td>資格</td> <td>学年</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> </table>	科目数	0	8	0	8	1年	基礎	専門	資格	学年	単位	0	17	0	17	
科目数	0	8	0	8															
1年	基礎	専門	資格	学年															
単位	0	17	0	17															
<table border="1"> <tr> <td>卒業</td> <td>科目数</td> <td>21</td> <td>63</td> <td>0</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>42</td> <td>125</td> <td>0</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>要卒業</td> <td>単位</td> <td colspan="3">167</td> </tr> </table>			卒業	科目数	21	63	0	84	単位	42	125	0	167	要卒業	単位	167			
卒業	科目数	21	63	0	84														
単位	42	125	0	167															
要卒業	単位	167																	

※この履修モデルは、専修(分期)で履修を推奨する科目です。なお、この他の科目の履修も可能です。

注記

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 - : 必修科目、◎: 全員履修科目 (卒業には必修科目の単位修得が必要で)
 - 【資格対応科目】
 - 太字: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、☆: 教職(高校福祉)科目、
 - ▼: 保育士科目、§: スクールソーシャルワーク科目

医療専修 学びの流れ (1~4年)

医療専修では、保健・医療と社会福祉をつなぐ力を持った人材を養成します。目の前にいる人のより良い人生のために、すべての人に公正な社会を実現するために、現状を変革する目と力を養います。ここでは、医療ソーシャルワーカー（MSW）と精神保健福祉士（PSW）を目指すケースを例にあげ、学びの流れを示しています。それ以外の職を目指す場合でも、保健医療福祉領域で働くには相当の知識・技術が求められます。該当科目をしっかりと履修し、価値に根ざした知識と技術を身につけていきます。



2018年度以前入学生

履修モデル【精神保健領域のソーシャルワーカー】をめざす場合

〔社会福祉士と精神保健福祉士受験資格も取得します〕

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】				
1年【履修上限4.8単位】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆★ 日本国憲法 2 ★ 哲学 2 □★ 社会学 2 □☆☆ 心理学 2 ◎☆☆ 社会福祉入門 2 ◎☆☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・インク®リッシュⅠ-1 1 ●▼ フレッシュマン・インク®リッシュⅠ-2 1 ●☆☆ フレッシュマン・インク®リッシュⅡ-1 1 ●☆☆ フレッシュマン・インク®リッシュⅡ-2 1 ● ふくしとフィールドワーク 2 ●☆☆ 情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆☆ 情報処理演習Ⅱ 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆☆ 医学概論 2 □ 社会保険論Ⅰ 2 □●☆☆ 社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆☆ 高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆☆§ 児童・家庭福祉論 2 ★ 社会福祉発達史Ⅰ 2 地域マネジメント実践Ⅰ 2 □§ 精神保健学Ⅰ 2 □ 精神保健福祉論 2 	科目数	13	11	24
			1年	基礎	専門	学年
			単位	26	22	48
2年【履修上限4.8単位】	<ul style="list-style-type: none"> ◎§ フィールド実践演習 4 死生学 2 	<ul style="list-style-type: none"> □☆☆ 社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆☆ 社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワークⅠ 2 ☆ ソーシャルワークⅡ 2 □●☆☆ 社会福祉原論Ⅱ 2 □ 地域福祉論Ⅰ 2 □☆☆ 障害者福祉論 2 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 地域保健学 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 地域マネジメント実践Ⅱ 2 □ 精神医学Ⅰ 2 □ 精神医学Ⅱ 2 □ 精神保健学Ⅱ 2 □ 精神保健福祉援助技術総論 2 □ 精神保健福祉制度論Ⅰ 2 医療福祉論Ⅰ 2 保健医療福祉論特講 2 ◎ 医療福祉特別講義 2 	科目数	2	23	25
			2年	基礎	専門	学年
			単位	6	42	48
3年【履修上限4.8単位】	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得を目指し、バランス良く履修していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワークⅢ 2 □ 社会保険論Ⅱ 2 □ 保健医療サービス論 2 □★ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎ 社会福祉専門演習Ⅰ 4 ケアマネジメント論 2 ケアマネジメント演習 2 障害者心理学 2 □ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ 4 □ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ 2 □ 精神保健福祉制度論Ⅱ 2 □ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 1 □ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 1 	科目数	0	23	23
			3年	基礎	専門	学年
			単位	0	48	48
4年【履修上限4.8単位】	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資格科目(精神保健福祉士援助演習・実習)を中心に履修し、卒業論文完成、国家試験合格を目指して取り組んでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワークⅣ 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅱ 2 ● 社会福祉専門演習Ⅱ 4 障害者福祉論特講 2 □ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ 2 □ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 2 □ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 2 □ 精神保健福祉援助実習 5 ◎ 卒業論文 2 	科目数	0	9	9
			4年	基礎	専門	学年
			単位	0	23	23

※なお、この履修モデルは、専修(分野)で履修を推奨する科目です。この他の科目の履修も可能です。

卒業(科目)	15	66	81
単位	32	135	167
要卒業単位	167		

注記

- 卒業には12.4単位以上必要(総合基礎科目を2.8単位以上、専門科目を6.6単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し。資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
●: 必修科目、◎: 全員履修科目 (卒業には必修科目の単位修得が必要です)
【資格対応科目】
太字: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、☆: 教職(高校福祉)科目、▼: 保育士科目、§: スクールソーシャルワーク科目

履修モデル 【医療ソーシャルワーカー】をめざす場合

〔社会福祉士受験資格も取得します〕

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	科目数	14	10	24
1年 〔履修上限4.8単位〕	◎ 総合演習 4 ☆★ 日本国憲法 2 ★ 哲学 2 □★ 社会学 2 □☆▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆★ フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆★ フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1 ふくしとフィールドワーク 2 ●☆★▼ 情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆★▼ 情報処理演習Ⅱ 2 こころとからだ 2	□☆ 医学概論 2 □ 社会保障論Ⅰ 2 □●☆▼ 社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼§ 児童・家庭福祉論 2 ★ 社会福祉発達史Ⅰ 2 精神保健福祉論 2 精神保健学Ⅰ 2	1年 基礎	28	20	48
2年 〔履修上限4.8単位〕	◎§ フィールド実践演習 4 死生学 2	□☆ 社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆ 社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワークⅠ 2 ☆ ソーシャルワークⅡ 2 □●☆ 社会福祉原論Ⅱ 2 □ 地域福祉論Ⅰ 2 □☆ 障害者福祉論 2 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 ☆ 介護福祉論 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 □ 精神医学Ⅰ 2 □ 精神医学Ⅱ 2 □ 精神保健福祉制度論Ⅰ 2 精神保健学Ⅱ 2 リハビリテーション医学 2 地域保健学 2 医療福祉論Ⅰ 2 保健医療福祉論特講 2 ◎ 医療福祉特別講義 2	2年 基礎	2	23	25
3年 〔履修上限4.8単位〕	社会福祉士受験科目に加え、保健医療福祉関連科目を履修していきます。	☆ ソーシャルワークⅢ 2 □ 社会保障論Ⅱ 2 □ 保健医療サービス論 2 □★ 福祉行財政論 2 □ 権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □ 福祉計画論 2 ▼ 就労支援 1 司法福祉論 2 □ 地域福祉論Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ ソーシャルワーク実習 4 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎ 社会福祉専門演習Ⅰ 4 医療福祉論Ⅱ 2 ケアマネジメント論 2 ケアマネジメント演習 2 家族援助論 2 □ 精神保健福祉制度論Ⅱ 2 □ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ 4	3年 基礎	0	21	21
4年 〔履修上限4.8単位〕	医療ソーシャルワーク演習・実習指導・実習やターミナルケアの履修により、MSWとしての実践的な知識・技術を高めていきます。	☆ ソーシャルワークⅣ 2 ☆ 高齢者福祉論Ⅱ 2 ● 社会福祉専門演習Ⅱ 4 ターミナルケア 2 医療ソーシャルワーク演習 2 医療ソーシャルワーク実習指導 1 医療ソーシャルワーク実習 2 ◎ 卒業論文 2	4年 基礎	0	8	8

※なお、この履修モデルは、専修（分野）で履修を推奨する科目です。この他の科目の履修も可能です。

卒業	(科目)	15	62	78
要卒業単位	単位	34	125	159
要卒業単位		159		

注記

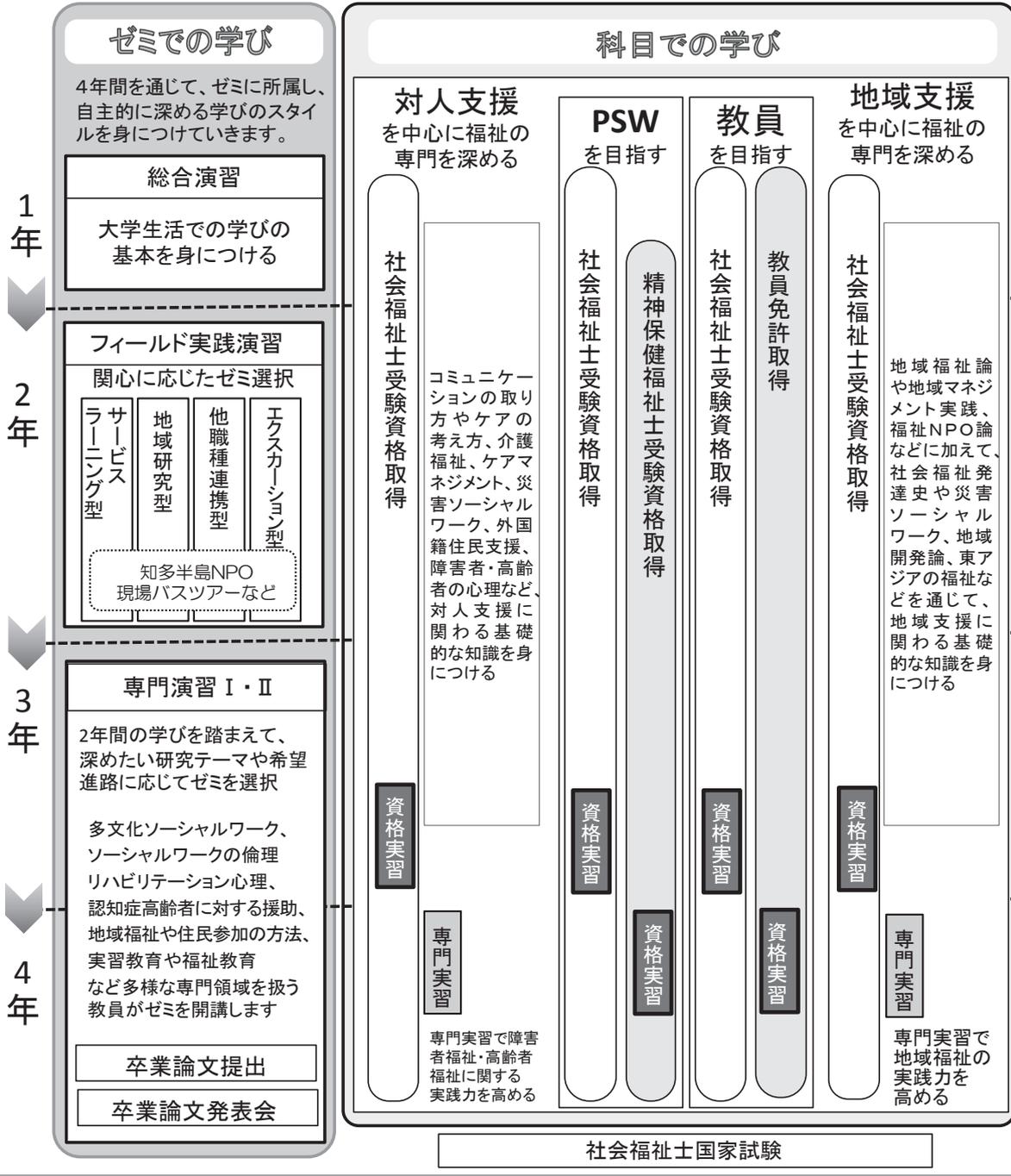
- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。
 ●：必修科目、◎：全員履修科目（卒業には必修科目の単位修得が必要です）
 【資格対応科目】
 太字：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、
 ▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目

2018年度以前入学生

人間福祉専修 学びの流れ

人間福祉専修では、高齢者や障害者をはじめ、母子世帯、生活困窮世帯など地域での自立生活を送る上での様々な困難を抱えている多様な人たちに対して、一人ひとりの問題解決に向けた個別の支援方法から地域にはたらきかけて行う支援までを幅広く担うための知識・技術について学びを深めていきます。なお、本専修では、指定科目を履修することにより、社会福祉士の受験資格のほか、精神保健福祉士 (PSW) の受験資格、高校教員 (福祉科) の免許を取得することができます。

2018年度以前入学生



履修モデル

対人支援を中心に福祉の専門を深める場合

～暮らしにきをかかえる人に直接かかわる支援から社会福祉を学びたい方～

※精神保健福祉士や高校教員(福祉)の資格取得をめざす人は、
下記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。
希望する学生は、必ず、学部ガイドの当該資格のページを確認してください。

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	科目数	基礎	専門	学年
1年 履修上限4.8単位	◎総合演習 4 □社会学 2 □心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎☆ライフデザイン入門 2 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1 文学 2 ●☆情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆情報処理演習Ⅱ 2 ●ふくしとフィールドワーク 2 視覚障害者支援論 2	□☆医学概論 2 □☆社会保障論Ⅰ 2 □●☆社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆☆児童・家庭福祉論 2 障害者コミュニケーション 2	14	8	22	1年
2年 履修上限4.8単位	◎§フィールド実践演習 4 死生学 2 コミュニケーション力演習 2 文章作成力演習 2	□☆社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ソーシャルワークⅠ 2 ☆ソーシャルワークⅡ 2 □●☆社会福祉原論Ⅱ 2 □地域福祉論Ⅰ 2 □☆障害者福祉論 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 ヒューマンケア論 2 災害ソーシャルワーク 2 ☆介護福祉論 2 レクリエーション・ワーク論 2 レクリエーション実技 2	4	16	20	2年
3年 履修上限4.8単位	ソーシャルワークの援助技術を学び、実習を行ないます。また、ケアマネジメント論・演習、障害者心理学、老年心理学、外国籍住民支援などを通じて、幅広い観点から対人支援の専門知識・技術を身につけていきます。さらに、外書講読などを通じて、より広い観点からソーシャルワークを学ぶことをおすすめします。	☆ソーシャルワークⅢ 2 □社会保障論Ⅱ 2 □保健医療サービス論 2 □福祉行財政論 2 □権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □福祉計画論 2 ▼就労支援 1 司法福祉論 2 □地域福祉論Ⅱ 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ソーシャルワーク実習 4 □▼ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎社会福祉専門演習Ⅰ 4 外国籍住民支援 1 ケアマネジメント論 2 ケアマネジメント演習 2 ☆障害者心理学 2 ☆老年心理学 2	0	18	18	3年
4年 履修上限4.8単位	4年間の学びの集大成として卒業論文を執筆します。	☆ソーシャルワークⅣ 2 ☆高齢者福祉論Ⅱ 2 ●社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎卒業論文 2 障害者福祉論特講 2	0	5	5	4年
			0	41	41	卒業
			18	97	65	要卒業単位
			36	97	133	

※なお、この履修モデルは、専修(分野)の学びとして履修を推奨する科目です。
この他の科目の履修も可能です。

注記

- 卒業には12.4単位以上必要(総合基礎科目を2.8単位以上、専門科目を6.6単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し。資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。

●:必修科目、◎:全員履修科目、※:隔年で開講する科目

【資格対応科目】

太字:社会福祉士科目、□:精神保健福祉士科目、☆:教職(高校福祉)科目、▼:保育士科目、§:スクールソーシャルワーク科目

2018年度以前入学生

履修モデル

地域支援を中心に福祉の専門を深める場合

～さまざまな人が暮らす地域に働きかける支援から社会福祉を学びたい方～

※精神保健福祉士や高校教員(福祉)の資格取得をめざす人は、
下記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。
希望する学生は、必ず、学部ガイドの当該資格のページを確認してください。

開講学年	総合基礎科目【卒業に28単位以上必要】	専門科目【卒業に66単位以上必要】	科目数	1年基礎	10年専門	22学年
1年 【履修上限4.8単位】	◎総合演習 4 □社会学 2 □▼心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎☆ライフデザイン入門 2 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1 ●☆▼情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆▼情報処理演習Ⅱ 2 ●ふくしとフィールドワーク 2	□☆医学概論 2 □社会保険論Ⅰ 2 □●☆▼社会福祉原論Ⅰ 2 社会福祉調査論 2 □公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論Ⅰ 2 ☆▼§児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践Ⅰ 2 社会福祉発達史Ⅰ 2 地域社会学 2	12	10	22	42
2年 【履修上限4.8単位】	◎§フィールド実践演習 4 福祉データ処理演習 2 3年次に行なう実習の準備が始まります。並行して、地域福祉論Ⅰや社会福祉発達史で地域福祉の基本的な考え方や知識を学びます。福祉NPO論や地域マネジメント実践、災害ソーシャルワークなどの関連領域を学びながら、地域支援・地域福祉への理解を深めていきます。	□☆社会福祉方法原論Ⅰ 2 □☆社会福祉方法原論Ⅱ 2 ☆ソーシャルワークⅠ 2 ☆ソーシャルワークⅡ 2 □●☆社会福祉原論Ⅱ 2 □地域福祉論Ⅰ 2 □☆障害者福祉論 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □▼ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 地域マネジメント実践Ⅱ 2 社会福祉発達史Ⅱ 2 災害ソーシャルワーク 2 生涯教育論Ⅰ 2 レクリエーション・ワーク論 2 レクリエーション実技 2 福祉NPO論 2 ◎人間福祉特別講義 2	2	19	21	40
3年 【履修上限4.8単位】	現代基礎教養 2 ソーシャルワーク実習を行いません。また、福祉行財政論、福祉計画論、外国籍住民支援、地域開発論などで、地域福祉の実践に必要な専門知識・技術を身につけていきます。さらに、外書講読や東アジアの社会福祉を通じて、より広い観点からソーシャルワークを学ぶことをおすすめます。	☆ソーシャルワークⅢ 2 □社会保険論Ⅱ 2 □保健医療サービス論 2 □福祉行財政論 2 □権利擁護と成年後見制度 2 社会福祉経営論 2 □福祉計画論 2 ▼就労支援 1 司法福祉論 2 □地域福祉論Ⅱ 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ☆ソーシャルワーク実習 4 □▼ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □▼ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎社会福祉専門演習Ⅰ 4 ソーシャルワーク外書講読 2 外国籍住民支援 1 生涯教育論Ⅱ 2 地域開発論 2 東アジアの社会福祉 1	1	20	21	40
4年 【履修上限4.8単位】	4年間の学びの集大成として卒業論文を執筆します。	☆ソーシャルワークⅣ 2 ☆高齢者福祉論Ⅱ 2 ●社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎卒業論文 2	0	4	4	4

※なお、この履修モデルは、専修(分野)の学びとして履修を推奨する科目です。
この他の科目の履修も可能です。

卒業(科目)	15	53	68
卒業単位	30	102	132
要卒業単位	132		

注記

- 卒業には12.4単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限である。但し、資格独自科目は含まない。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には繰り込まれません。
- 科目名の前の記号は次の通り。

●:必修科目、◎:全員履修科目、※:隔年で開講する科目

資格対応科目

【資格対応科目】

太字:社会福祉士科目、□:精神保健福祉士科目、☆:教職(高校福祉)科目、

▼:保育士科目、§:スクールソーシャルワーク科目